

VOICE GRUS®

ボイス電波クロック GRS009-JK

取扱説明書・保証書



安全にお使いいただくために – はじめにお読みください –

注意表示の種類

表示内容に従わず、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 重大な事故や怪我が発生する可能性があります。

禁止 行ってはいけない行為を示します。

注意 軽いがや製品の損傷が生じる可能性がある内容です。

強制 必ず行っていただく行為を示します。

◆ご使用方法について

警告 小さな部品や電池、梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。故障の原因になります。故障時の保証対象外となります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、本製品から電池を取り出してください。

禁止 本製品は防水仕様ではありませんので、浴室など水がかかる場所では使用しないでください。また、飲み物などが製品にかけないようにご注意ください。

警告 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、本製品から電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

警告 本製品から発熱、発煙、異臭等の異常があるときは、すぐに使用を中止し、火傷しないよう十分ご注意ください。

注意 ディスプレイが破損して液晶が手などに付いた場合は、石鹸などで洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。

◆使用場所・保管場所について

- 禁止** 本製品を以下のような場所で使用、または保管しないでください。
 - 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
 - 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
 - 浴室や加湿器の近くなど湿度が多い所。
 - 塵、ほこりが多く発生する所。
 - テレビ、OA機器、オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所や不安定な所。
 - 工場や台所など多くの油を使用する所や、温泉場などガスが発生する所。
 - 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。
 - ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物、及び時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

◆電池の取り扱いについて

強制 電池は必ずマイナス側から入れてください。また、プラスとマイナスを正しく入れてください。

禁止 充電電池はご使用いただけません。アルカリ乾電池を推奨しております。

強制 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、以下のことをお守りください。電池に傷をつけたり、分解しないでください。時計が止まったらすぐに電池を取り外してください。長期間時計を使用しないときは電池を全て取り外してください。電池を新しくするときは、全部取り替えてください。異なる種類の電池（アルカリとマンガンなど）の混在使用はおやめください。

警告 液漏れが起きてしまった場合は、以下の内容をご確認いただき速やかに対処してください。電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。漏れた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、漏れた液を布や紙でよく拭き取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。

注意 電池を廃棄する際は、お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。火に入れると破裂の原因となり危険です。

◆電波障害について

- ※ 以下のような場所では受信が困難になる場合があります。
 - ・家電機器、特に受信中のテレビから約2mの半径内、
 - ・高層ビルや山等の谷間
 - ・または金属面の上や近く
 - ・近くに金属等の電波を遮断するものがある場所
 - ・地下、鉄筋コンクリート造の建物内
 - ・ノイズの発生場所の近く（空港、高速道路、工事現場など）
 - ・移動中の車、電車の中
 - ・高圧線、テレビ塔の近く

◆お手入れについて

- ※ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤や石鹸水を、やわらかい布に少量つけて拭き取り、その後、からぶきしてください。
- ※ ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

◆時計の廃棄について

- ※ お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

※ この取扱説明書の内容は予告なく変更することがあります。

1. ボタンと表示

- ① 天面に、VOICE ボタンが1個配置されています。時刻と温度読み上げ、オートボイス、スヌーズ、及びライト点灯に使用します。
- ② 背面の上部に5個のボタンが配置されています。左からAボタン、Bボタン、Cボタン、Dボタン、Eボタンです。
- ③ Aボタンは、マニュアル時刻設定、アラーム設定、12時間制/24時間制の切り替えに使用します。
- ④ Bボタンは、音量設定、言語設定に使用します。
- ⑤ Cボタンは、時報設定、オートボイスの間隔設定に使用します。
- ⑥ Dボタンは、アラーム ON/OFF、数値アップに使用します。
- ⑦ Eボタンは、時刻電波受信、時刻電波受信状況確認、数値ダウンに使用します。



【アイコンの説明】

PM	時刻が12時間制で午後の時間帯に点灯します。	15H24H (())	時報 ON の時に点灯し、15時間設定か24時間設定で切り替わります。
AUTO VOICE	オートボイス作動中に点灯します。	🔊	段階的に音量の大きさを表します。
🔔	アラーム1がONの時に点灯します。	ZZ	スヌーズ機能が作動中に点滅します。
🔔	アラーム2がONの時に点灯します。	📶	時刻電波の受信が成功した場合に点灯します。(詳細は6.電波受信参照)
🌡️	温度表示部に点灯します。	🔋	電池残量低下時に点灯します。

2. 使用の開始

1. 電池のセット

背面の電池カバーを外し、アルカリ単3乾電池を2本セットします。
※プラス (+) とマイナス (-) の向きを間違えないようご注意ください。



3. 受信失敗時の対処方法

① 強制受信

電波を受信しやすい場所に、時計を置いてください。室内では窓の近くが最適です。背面のEボタンを長押ししてください。その後、時計を約14分間静止させてください。



2. 受信の開始

電池をセットすると、電波の受信を開始します。最長約14分間、受信動作を行います。その際、画面右下のアンテナアイコンが点滅します。

- ① 受信成功の場合
標準時刻に変更されてアンテナアイコンが点灯します。
- ② 受信失敗の場合
アンテナアイコンの支柱だけが点灯します。受信結果を確認する場合は、Eボタンを短押しします。



② マニュアル時刻の設定と自動受信

強制受信も受信失敗となる場合は、いったんマニュアル時刻の設定を行ってください。その後、時計を窓の近くに一晚置いてください。
※ マニュアル時刻の設定は、裏面の4.設定>1.時刻に関する設定をご参照ください。
※ 特に夜間は電波が受信しやすいため、自動受信が成功する場合があります。

自動受信について

この時計は、毎日午前2時に自動で電波を受信します。
※ 自動受信の詳細は裏面の5.電波受信>1.自動受信をご参照ください。

3. 各ボタンの操作

1. VOICE ボタン

短押し：時刻を読み上げます。

例：「12時36分」

※ VOICE ボタンを押すと5秒間ライトが点灯します。

2回押し：整数部分の温度を読み上げます。

例：「27℃」（小数点以下は読み上げません。）

長押し：オートボイス機能を開始します。



オートボイス機能 ※ 詳細は裏面の4.設定>4.オートボイスの設定をご参照ください。
自動で時刻を読み上げる機能です。毎分、毎5分、毎10分の3つの中から1つを任意で選択できます。解除はVOICEボタンを再び長押しします。開始後1時間で自動的に解除されます。

3. B ボタン（音量変更）

短押し：音量を変更します。

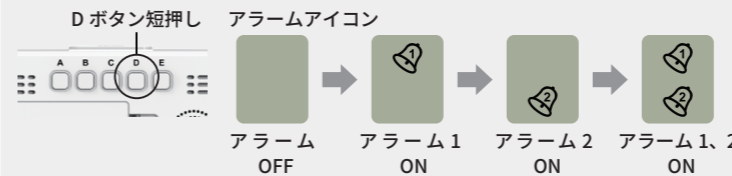
「OFF→音量小→音量中→音量大」の順に変更されます。



5. D ボタン（アラーム ON/OFF）

短押し：設定したアラームのON/OFFを切り替えます。

例：「アラーム OFF」、「アラーム1 ON」、「アラーム2 ON」、「アラーム1、2 ON」



2. A ボタン（アラーム時刻確認）

短押し：アラーム1の時刻を読み上げます。例：「アラーム1、7時15分」

再度短押し：アラーム2の時刻を読み上げます。例：「アラーム2、13時0分」

再度短押し：現在時刻を読み上げます。例：「時刻10時58分」

※ 1分間操作しないと現在時刻に戻ります。



4. C ボタン（時報設定）

短押し：時報設定を切り替えます。

「時報 OFF→時報15→時報24」の順に切り替わります。

※ 時報15は、7時から21時の間のみの時報を読み上げます。

※ 時報24は、24時間すべての時報を読み上げます。



6. E ボタン（受信確認）

短押し：受信状況を確認します。

例：「受信成功+現在時刻」、「受信失敗」、「電波 OFF」

※ 直近の受信に成功していると「受信成功●時●分（現在時刻）」を読み上げます。

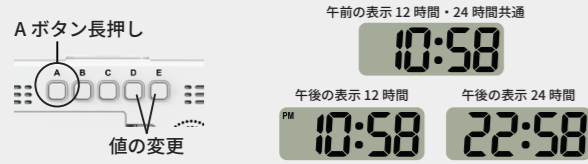


4. 設定

1. 時刻に関する設定

12/24 時間制表示の切り替え

- 時刻表示の時、A ボタンを長押しすると「マニュアル設定開始、12 時間（または、24 時間）」と読み上げ、12/24 時間制表示の切り替えに入ります。
- D ボタンまたは E ボタンでお好みの表示形式を選択してください。
- A ボタンを短押しして右のマニュアル時刻の設定に進みます。
※ ④以降の設定（マニュアル時刻、電波受信機能の ON/OFF、時差）が不要な場合は、A ボタンを繰り返し短押しして設定を終了するか、1 分間操作せず設定を終了してください。



電波受信機能の ON/OFF 切り替え

- 「電波 ON（または、電波 OFF）」と読み上げます。
- D ボタンまたは E ボタンで切り替えてください。
※ 電波 OFF にするとアンテナ支柱アイコンが点灯します。
- A ボタンを短押しして右の時差設定に進みます。



マニュアル時刻の設定

- 「●●時」と時を読み上げます。
※ マニュアルで設定した時刻は、時刻電波を受信すると日本標準時に変わります。マニュアル時刻を維持したい場合は、次（左下）の電波受信機能を OFF に設定してください。
- D ボタンまたは E ボタンで時を変更してください。
※ ボタンを長押しすると、数値は早送りされます。
- A ボタンを短押しすると「●●分」と読み上げます。
- D ボタンまたは E ボタンで分を変更してください。
- A ボタンを短押しして左下の電波受信機能の ON/OFF 切り替えに進みます。



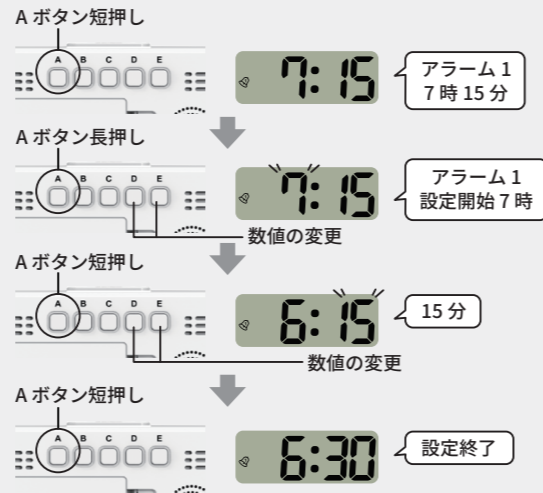
時差設定

- ※ 電波時計のため、通常は使用しません。将来的なサマータイムや時差の変更に対応するための機能です。
- 「時差ゼロ（または、マイナス 30 分 / マイナス 1 時間 / プラス 30 分 / プラス 1 時間）のいずれか」と、現在の時差設定を読み上げます。
 - D ボタンまたは E ボタンで切り替えてください。
 - A ボタンを短押しすると「設定終了」と読み上げます。

2. アラームに関する設定

アラーム時刻の設定

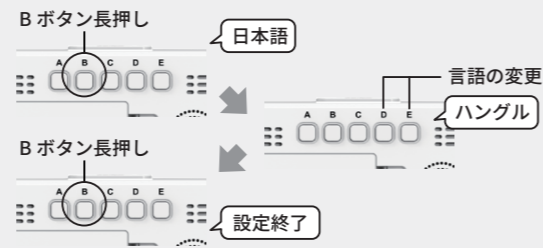
- A ボタンを短押しして、アラーム 1 またはアラーム 2 に切り替えます。
※ 音声で「アラーム 1（または、アラーム 2）●時●分」と読み上げます。
- 設定したいアラーム番号が選択されている状態で、A ボタンを長押しします。
- 「アラーム 1（または、アラーム 2）設定開始 ●●時」と読み上げ、アラーム時刻の設定に入ります。
- D ボタンまたは E ボタンで時を変更してください。
※ ボタンを長押しすると、数値は早送りされます。
- A ボタンを短押しすると「●●分」と読み上げます。
- D ボタンまたは E ボタンで分を変更してください。
- A ボタンを短押しすると「設定終了」と読み上げ、設定が終了します。
※ 1 分間操作しないと自動的に設定を終了します。
※ アラーム時刻を設定しても、D ボタンでアラーム 1、もしくはアラーム 2 を ON にしないとアラームは鳴りません。



3. 言語に関する変更

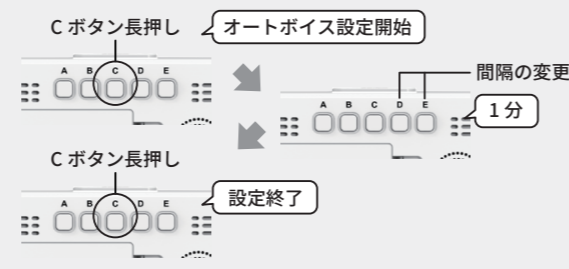
言語（日本語 / 韓国語）の切り替え

- B ボタンを長押しすると、「言語 設定開始 日本語（または、ハングル）」と読み上げ、言語の切り替えに入ります。
- D ボタンまたは E ボタンを押して、言語を選択してください。
- B ボタンを長押しすると「設定終了」と読み上げ、設定が終了します。
※ 1 分間操作を行わないと自動的に設定が終了します。



4. オートボイスに関する設定

- C ボタンを長押しすると、「オートボイス 設定開始 1分（または、5分/10分）」と読み上げ、オートボイスの設定に入ります。
※ 読み上げのタイミングは、時報のように毎分、毎 5 分、毎 10 分となります。
（例：5 分設定で 6:58 にオンにした場合 → 7:00、7:05、7:10・・・と読み上げます。10 分設定で 19:12 にオンした場合 → 19:20、19:30、19:40・・・と読み上げます。）
- D ボタンまたは E ボタンを押して、間隔を選択してください。
- C ボタンを長押しすると「設定終了」と読み上げ、設定が終了します。
※ 1 分間操作を行わないと自動的に設定が終了します。



5. 電波受信

1. 自動受信

この時計は毎日午前 2 時に自動で時刻電波の受信を開始し、最長約 14 分間、受信動作を行います。受信しない場合は 1 時間ごとに最大 2 回自動受信を繰り返します。

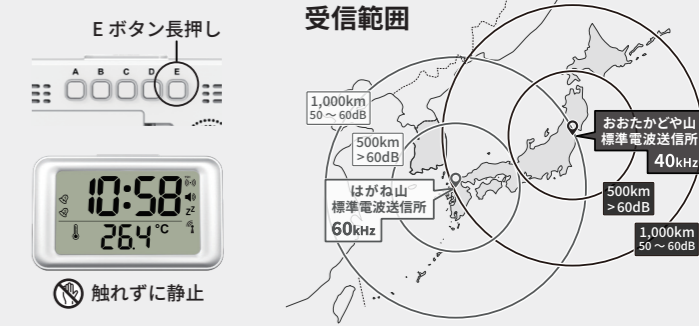
10 日間 1 度も受信しないと、自動的に電波受信 OFF となります。電波受信にかかる消費電流をセーブする効果があります。受信できる環境になった場合は、4. 設定 > 1. 時刻に関する設定 > 電波受信機能の ON/OFF 切り替えで「電波 ON」に切り替えてください。

アンテナアイコンの説明



2. 強制受信

E ボタンを長押しすると「受信開始」と読み上げ、受信を開始します。最長約 14 分間、受信動作を行います。受信中は時計を窓の近くで静止させてください。受信成功時は「受信成功 ●●時●●分」。受信失敗時は「受信失敗」と読み上げます。



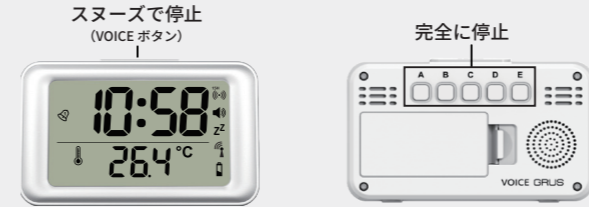
- ※ 電波受信中は温度計測、通常操作及び読み上げ機能が作動しないことがあります。
- ※ 各種機能を優先させたい場合は、E ボタンを長押しして、受信を停止させてください。
- ※ 好条件のもとでは、電波送信所から 1,000km 先でも時刻情報を受信することが可能です。

6. アラームの停止とスヌーズ機能

アラーム：スヌーズ機能付き電子音アラーム。鳴動時間 2 分

アラーム鳴動中、いずれかの背面ボタン（A - E）で停止します。VOICE ボタンを押して停止させるとスヌーズ機能が作動し、5 分後に再度鳴動します。最大 5 回繰り返します。

- アラーム時刻の設定
 4. 設定 > 2. アラームに関する設定 > アラーム時刻の設定
- アラームの ON/OFF
 3. 各ボタンの操作 > 5. D ボタン



8. 仕様

受信電波	40kHz（福島局）/ 60kHz（九州局）の自動選局（JJY）
クロック精度	月差 ± 30 秒
温度測定範囲	温度 -10 ~ 50°C (-10°Cより低い場合は Lo、50°Cより高い場合は Hi と表示)
温度精度	温度 ± 1°C (0 ~ 50°C)
温度測定間隔	約 10 秒
電源	アルカリ単 3 乾電池 2 本（別売り）※ 充電電池は使用できません
製品サイズ	120 × 75 × 50mm / 約 175g（電池含まず）
LCD サイズ	50 × 90 mm（開口部）
音量	OFF / 音量小 / 音量中 / 音量大

- ※ 液晶はその特性上、0°C以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40°C以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
- ※ 液晶表示は経年劣化により、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
- ※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社インテック サービスセンター（平日 10:00 ~ 17:00）
〒110-0005 東京都台東区上野 3-2-4 ザボン村上ビル 4F
TEL : 03-5817-0751 E-Mail : support@grus.tokyo WEB : https://grus.tokyo

7. 電池残量の低下

電池残量が低下すると、ボタンを押した際に「電池残量低下」と読み上げます。電池を 2 本とも新しいものに交換してください。

